



宇建協が創立 80 周年記念式典を開催 ～更なる社会貢献に心新たに～

【宇都宮支部】



宇都宮建設業協会（野澤充広会長）は平成 7 年 11 月 5 日、宇都宮東武ホテルグランデにおいて創立 80 周年記念式典を開催しました。宇都宮建設業協会は 1946 年 5 月に発足した「宇都宮土建業組合」が前身で、現在会員数 75 社で構成されています。

第 1 部の記念式典には佐藤栄一宇都宮市長、高橋克法法務副大臣、堀良昭栃木県議会議員、塚田典功宇都宮市議会議員、谷黒克守栃木県建設業協会会長らが来賓として出席しました。野澤会長は「地域の守り手としての社会的使命を果たすためには技術力や経営力向上の研鑽を積むことが大切であり、働き方改革にも積極的に取り組み、魅力ある業界へと進化させ、未来の子どもたちが安心して暮らせるまちづくりに精進する」と 80 周年をさらなる進化に向けた出発点とし、自信と誇りを胸に生業に励む決意を式辞の中で述べました。

第 2 部の記念講演では、テレビコメンテーターとしておなじみの弁護士・八代英輝氏が「あなたの会社は大丈夫？ 経営者が知っておくべき法律トラブル最前線」との演題で講演を実施し、講演後の質問時間では多くの興味深い質問も飛び出しました。

第 3 部の祝賀会は福田富一栃木県知事、船田元・五十嵐清衆議院議員、上野通子参議院議員らの来賓を迎えて、盛大な鏡開きからとても華やかに宴が催されました。

なお、今後 80 周年を記念した記念誌を発刊する予定です。

（岩原産業(株) 岩原正樹）

LRT 事業の推進に 多大なる貢献

【宇都宮支部】

2023 年 8 月に開業した芳賀・宇都宮 LRT（ライトライン）は、通勤・通学・買い物・通院などの移動環境の向上、外出機会・歩く機会の創出、公共交通全体の利便性の向上などその整備効果が多方面で確認され、定住人口の維持・増加や地価の維持・上昇にも大きく寄与していることが認められています。

利用者の累計も事前の予想を大きく上回り、営業 725 日（2025 年 8 月）に 1,000 万人を突破しました。宇都宮市長より LRT 事業の推進に大きな貢献のあった方々に感謝の意を表すため感謝状の贈呈がありました。われわれ建設業関係者からは以下の 4 人の方が受賞されました。



（株）暁工務店
増淵 薫氏



（株）菊地組
菊池三紀男氏



（株）野澤實業
野澤充広氏



上陽工業(株)
上野勝弘氏

（岩原産業(株) 岩原正樹）



南摩ダム関連工事現場研修会

【鹿沼支部】



令和7年9月18日、鹿沼支部と建災防鹿沼分会の合同で鹿沼市に建設中の南摩ダム関連工事の現場研修会が開催されました。この南摩ダムは、国内初のコンクリート表面遮水壁型ロックフィルダムという構造であり、洪水調節や水道用水の供給、流水の正常な機能の維持を目的とした多目的ダムで、令和8年度の完成を目指して整備が進んでいます。



初めに思川開発導水路工事（大芦川工区）について、工事概要や施工状況、安全の取り組みの説明をお聞きしました。熱中症対策においてWBGT値のチェックモニターが設置されており、作業員全員が確認できる

ようになっていました。また、完成した導水路内部の見学をさせていただきました。その他、管理棟多目的室や展望施設の見学では周辺の整備状況と試験淡水状況の説明を受けました。周辺にはアクティビティ施設の整備も進んでおり、観光資源としての可能性も広がっています。建設の進捗に合わせて地域社会の魅力向上に貢献する様子は、建設業の誇りと責任を改めて感じる視察となりました。

（株）安中建設 荻原真紀

クリーンアップキャンペーン開催

【日光支部】



令和7年10月31日に第31回クリーンアップキャンペーンを実施しました。主催は栃木県建設業協会日光支部・日光市建設業組合。共催として栃木県日光土木事務所・日光市役所。そしてCCIとちぎ・日光商工会議所にご後援をいただきました。

参加者総数は150名、本年は五十嵐清衆議院議員にもご参加いただき、国道119号旧道（杉並木内）今市小前歩道橋～日光方面へ3kmの区間において、日光が誇る『日光杉並木』植樹400年を記念したクリーンアップを盛大に実施することができました。



11月30日に行われる『日光杉並木植樹400年記念杉並木ウォーク』のコースを事前に綺麗にし、多くの市民に植樹400年の素晴らしい年だと周知することができました。地域と共に歴史を紡いできた建設業として、先人たちが守り育ててきた杉並木を官民が力を合わせて次代へとつないでいく役割をしっかりと担ってまいろうと思います。

（株）山田組 山田 孝



高校生現場見学会

【芳賀支部】



令和7年10月10日、建設産業への就業促進、人材育成、定着を目的として真岡工業高等学校建設科の1年生32名を対象に本年度も現場見学会を実施しました。

開講式では、坂野支部長の激励の挨拶と飯泉主幹教諭の訓示があり、見学会が始まりました。

土木現場は真岡土木事務所発注の一般国道408号真岡IC南立体建設工事その1〔施工：増山工業(株)〕、鋼橋上部工建設工事〔施工：川田・古河JV〕で、飯塚整備第一課長、田中主査より、408号真岡南BPの事業概要の説明を受け、ICT技術による盛土工事、テールアルメ工法による補強土壁工事、鋼橋上部床版の配筋状況を確認し、映像による鋼橋架設状況の説明を受けました。

建築現場は県土整備部建築営業課発注の県営若草住宅新1号棟新築工事〔施工：増淵・渡辺・興建JV〕で、定点撮影による建造物が立ち上る流れの説明を受け、8階建ての県営住宅の各階ごとに進む施工状況を研修しました。

当支部と真岡工業高校は創立以来60年以上、地元の企業として様々な取り組みを行っております。今回の見学会でも生徒たちはものづくりの楽しさを学び、建設業の魅力を知る良い経験になったことと思います。担い手不足が問題になっている昨今、未来の技術者たちが地元企業に就業し、人材確保につながることを期待し、今後も連携してまいります。

(河原土建(株) 河原恵治)

高校生、建設業を体感

【下都賀支部】



間々田保育園新設工事 重機体験

令和7年11月7日、下都賀支部建友会は若手建設業担い手育成支援事業として高校生を対象に現場見学会を開催しました。今回は栃木農業高等学校の環境デザイン科の2年生約40人を対象に、乙女大橋下部建設工事（山中・潮田JV）、間々田地区新設保育所建設外構工事（(株)山中組）、小山第四工業団地第二工区整備事業（板橋・光洋JV）の3現場を回りました。着工までの経緯や施工状況の説明、現場で働く技術者へのインタビューでは生徒のみなさんからたくさんの質問が出て盛り上がりました。重機の乗車体験や最新測量機器を用いた測量体験、稼働している重機を間近で見ることで建設業の業務と迫力、魅力を体感することができたのではないかと思います。また、道中車内の説明では建設業が地域の守り手として活躍していることも知っていただけたと思います。今回の見学会を機に建設業へ興味を持ち、将来の職業選択において選択肢の一つとなり、一人でも多くの人に地元建設業で従事してほしいと思います。



小山第四工業団地整備事業 現場見学

((株)乃木鈴建設産業 鈴木隆太)



「建設機械搭乗体験」 総合学習支援活動

【塩谷支部】



タイヤローラー搭乗体験

令和7年12月11日、塩谷支部建青会はさくら市の熟田小学校（初実施）で会員企業から28人が参加し、全校児童140人に対して建設機械の操作や搭乗を体験し楽しみながら建設業の魅力や役割について学んでもらえるよう総合学習支援活動を実施しました。

建青会員の保護の下、ミニバックホウでの砂山すくい、タイヤローラーや高所作業車の搭乗体験、振動ローラーでの缶つぶしなどを体験。2台のドローンが飛び立つ様子に児童たちも歓喜。建設機械のすばやさや操作の楽しさの魅力を感じてもらいました。



ミニバックホウ砂山すくい上げ搭乗体験

建設業は建設機械を使って皆さんの家や道路、橋などを作っていることを児童に説明しました。

総合学習を通じて建設業の役割、魅力を少しでも感じてもらい、将来の進路の選択技の一つになり、一人でも多くの人に建設業に携わってもらえれば嬉しいのです。

（友建工業(株) 小菅秀樹）

クマ被害を受けパトロールの実施

【那須支部】



とちぎテレビ YouTube より引用（切り取り）

那須塩原市建設業協会では、令和7年6月30日に発生したクマによる人身事故を受け、那須塩原市と協力し埼玉小学校及び稲村小学校区を中心に、スピーカーを載せた広報車で、登下校時の被害防止のため、パトロールの強化に努めました。

（実施期間：7月7日(月)～18日(金)の登下校時）

これにより、地域・関係団体が一体となった見守り体制を構築し、子どもたちが安心して通学できる環境づくりに取り組みました。



10月28日には渡辺市長よりこの活動に対し、感謝の言葉をいただきました。

今後も地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりのため、業務中や移動の際にも、可能な範囲で見守り活動を継続してまいります。

（那須塩原市建設業協会長 生駒組 生駒憲一）



みんなで楽しむ 土木施設見学ツアー

【那須支部】



建設業の魅力発信のため令和7年10月18日に「みんなで楽しむ土木施設見学ツアー」を実施しました。定員50名で募集しましたが、応募者が多数となり、最終的な参加者は19グループ57名（子ども23名、大人34名）でした。

「晩翠橋」「黒川鉄橋」「膳棚水路橋」の土木遺産3カ所及び「深山ダム地下発電所」「旧青木邸」「西岩崎頭首工」を見学し、先人たちの偉業を学ぶことができました。

昼食は会員が営んでいるキャンプ場でBBQを楽しむなど見学と合わせ、親子で楽しむ機会をつくりました。

募集に当たり、ポスターの掲示に協力をいただきました関係機関、関係者及び参加者並びに広報委員会の皆様に感謝申し上げます。

（株）館林工業 館林貴之

総合学習支援活動 ～建設機械搭乗体験～

【烏山支部】



那珂川町立小川小学校

令和7年11月11日、烏山支部建青会は那珂川町の小川小学校で総合学習支援活動を実施、4年生の児童27名が建設機械や高所作業車の搭乗を体験し、紙芝居などで建設業の魅力や役割について学習しました。

冒頭、建青会の岡会長が「今回の体験を通し、建設業の魅力や役割について興味を持ってもらいたい」と挨拶。児童は会員補助のもと、慣れないヘルメットをかぶってバックホウの搭乗操作や題目「道路ができるまで」の紙芝居に聞き入り、建設業の職種や役割について身近に感じ取っていました。



また、児童はドローン体験や建設クイズにも挑戦し、笑い声も出る中、建設業の大切さも含め、一生懸命に解答していました。活動の最後には、ドローン空撮による参加者全員の記念撮影を行いました。

我々建青会は、今後も活動を通して、建設業の魅力や役割、重要性を子どもたちや地域の方々に発信してまいります。

（株）荒川建設 中山靖之



総合学習支援活動

【安蘇支部】



バックホウ操作・搭乗体験

安蘇支部では、地域の未来を担う子どもたちに建設業の役割を知ってもらうことを目的として、佐野市立吾妻小学校において総合学習支援活動を実施しました。はじめに、災害時に建設業が果たす使命を理解してもらうため、紙芝居を用いて復旧作業や安全確保の流れをわかりやすく紹介しました。



続いて校庭では、バックホウ3台、高所作業車1台、コンバインドローラー1台を用いた操作・搭乗体験を行い、児童たちは迫力ある重機の動きに目を輝かせながら、普段は触れることのない建設機械の働きを体験しました。



また、土砂災害対策のミニ模型を使い、斜面保護や砂防施設の仕組みなどを説明し、身近な防災について理解を深めました。

本活動を通じて、建設業が地域の安全と生活を守る重要な仕事であることを学ぶ貴重な機会になったことと思います。

(岡田土建(株) 石澤洋幸)

わたらせフィスティバル in 足利

【足利支部】



足利支部は、令和7年11月9日に「わたらせフェスティバル in 足利」を開催いたしました。当日は小雨が降る時間帯もありましたが、屋外・屋内ともに多くの来場者に恵まれ、地域に建設業の魅力を伝える良い機会となりました。



屋外ではショベルカーでのボールすくい、測量体験、砂場で宝さがし、建設機械の展示など、普段は触れることのでき

ない建設の仕事を体験できる企画を実施。雨の合間でも楽しめるよう、安全面に配慮しながら運営しました。

一方、屋内ブースではVR現場体験、ラジコン掃除機操縦体験、ぬりえなど多彩なプログラムを展開しました。また、会員企業の施工事例パネル展示も室内に設置し、地域のインフラ整備に貢献する各社の取り組みをわかりやすく紹介。来場者が建設業の役割と広がり深く理解する機会となりました。

足利支部では、今後も地域とのつながりを強め、建設業の魅力発信と担い手確保に向けた活動を継続してまいります。

(三興工業(株) 山根良樹)